

防 災 航 空 行 政

第4 防災航空行政

1 概要

近年、気候変動や社会経済の進展などにより、災害の態様もますます複雑、多様化し、また大規模化する傾向にある。

このような状況の中、県民の尊い生命と貴重な財産を守り、県民生活の安全と安定を確保するためには、より質の高い広域的かつ迅速な消防防災活動を展開することが必要となってきた。

このため、本県においては、空中停止、垂直離着陸が可能な防災ヘリコプターを平成5年4月に導入し、県内の消防防災機関と連携のもと、救急救助や消火活動、災害時における被害状況調査、緊急物資の輸送等に活用しており、平成29年9月に新機体に更新し、県内消防防災体制のさらなる充実強化を図っている。

2 防災ヘリコプターの性能・諸元

- (1) 名称 三重県防災ヘリコプター「みえ」
- (2) 機種 レオナルド式 AW139型
- (3) 性能・装備品等 (P. 110～111 参照)

3 防災ヘリコプターの用途

(1) 救急活動

- ア 救急車で搬送するよりも病院到着までの時間を短縮できる傷病者の搬送
- イ 傷病者発生地への医師の搬送及び医療器材等の輸送
- ウ 高度医療機関のない地域からの傷病者の転院搬送
- エ 移植のための臓器搬送
- オ その他救急活動上、有効と認められる活動

(2) 救助活動

- ア 河川、海等での水難事故等における捜索・救助
- イ 山岳遭難事故等における捜索・救助
- ウ 高層建築物火災による救助
- エ 山崩れ等の災害により、陸上から接近できない被災者等の救出
- オ 高速道路及び自動車専用道路上での事故で、地上から収容、搬送が不可能と認められる救助
- カ その他救助活動上、有効と認められる活動

(3) 災害応急対策活動

- ア 地震、台風、豪雨等の災害の状況把握
- イ 津波情報等の広報及び海面の監視
- ウ 離島、被災地等の孤立場所等への緊急物資、医薬品等の輸送及び応援要員、医師等の搬送
- エ ガス爆発事故、高速道路等での大規模事故等の状況把握
- オ 各種災害等における住民への避難誘導及び警報等の伝達
- カ その他災害応急対策活動上、有効と認められる活動

(4) 火災防御活動

- ア 林野火災等における空中からの消火
- イ 火災における情報収集、伝達、住民への避難誘導等の広報
- ウ 交通遠隔地への消火資器材、消火要員等の輸送
- エ その他火災防御活動上、有効と認められる活動

(5) 広域航空消防防災応援活動

緊急消防援助隊の関係規定及び他県等との相互応援協定等に基づく活動

(6) 防災対策活動

- ア 災害危険箇所等の調査
- イ 住民への災害予防の広報
- ウ その他防災対策上、必要と認める活動

4 運航体制

(1) 組織

平成5年4月1日に消防防災課防災航空係（現消防・保安課防災航空班）を設置し、三重県防災航空隊と呼称（県内の消防本部から派遣の消防職員（9名）を県職員に併任発令して構成）

(2) 航空隊基地

津市伊勢湾ヘリポート（三重県津市雲出鋼管町2-2）

(3) 運航管理業務

操縦、整備点検等運航の管理は、中日本航空株式会社に委託

(4) 運航時間

日の出から日没まで

5 緊急運航の要請方法

(1) 要請者

市町長等（消防事務に関する一部事務組合の機関の長を含む）

(2) 要請先

消防・保安課 防災航空班（防災航空隊）に電話及びファックスにより要請

(3) 防災航空隊への連絡方法

- ・ 事務用電話 059-235-2555、2556
- ・ ファックス 059-235-2557
- ・ 緊急運航要請専用電話 059-235-2558
- ・ 防災行政無線ファックス（地上系） 8 * 145

(4) 緊急運航の要件

緊急運航は、原則として次の要件を充たす場合に運航することができるものとする。

ア 公共性

地域並びに地域住民の生命、身体、財産を災害から保護することを目的とすること。

イ 緊急性

差し迫った必要性があること。(緊急に活動を行わなければ、県民の生命、身体、財産に重大な支障が生ずるおそれがある場合)

ウ 非代替性

防災ヘリコプター以外に適切な手段がないこと。(既存の資機材、人員では十分な活動が期待できない、又は活動できない場合)

6 防災ヘリコプターの性能・各種装備品

(1) 概要

- ア 製造会社……………レオナルド S. p. A. 社製 (イタリア)
- イ 型式名……………レオナルド式 AW139型
- ウ 全長／全幅／全高……………16.6m／4.2m／4.9m
- エ 主回転翼……………直径13.8m
- オ エンジン (2基) …… 最大出力3,358SHP

(2) 性能

- ア 最大搭乗者数……………14名 (操縦士含む)
- イ 空虚重量……………約4,600kg
- ウ 最大離陸重量……………6,800kg
- エ 航続距離……………798km
- オ 航続時間……………約3時間53分
- カ 最大速度……………310km/h
- キ 高度限界……………6100m

(3) 主要装備品

[防災用装備品]

- ア 空中消火装置 (バケツ型の消火器具を機体下に吊り下げ、機内より操作して使用)
 - ※ 消火バケツ 容量1,000L
- イ ヘリコプターテレビ伝送システム (可視カメラ・赤外線カメラで撮影した画像を受信局へ送信)
- ウ 投光装置 (サーチライト) (夜間における地上の各種活動支援、捜索等に使用)
- エ 機外拡声装置 (災害時の避難誘導、各種広報等に使用)
- オ ホイスト装置 (隊員の降下・引き上げ、要救助者の救助等を行う装置)
 - ※ 272kg まで吊り上げ可能、ケーブル長約88m
- カ ストレッチャー装置 (救急用ストレッチャー) (救急活動時、傷病者を機内へ収容するために使用)
- キ 無線装置 防災行政用 (150MHz・アナログ)、消防用 (260MHz・デジタル)
防災ヘリコプター通信用 (260MHz・デジタル)

[飛行用装備品等]

- ア 無線装置 (航空用120MHz・アナログ)
- イ 気象用レーダー (経路上及び周辺の気象状況を、夜間及び視野不良状態でも、操縦士が十分に把握できる装置)
- ウ 電波高度計 (電波により高度を求めるものであり、山岳地帯での飛行に有効)
- エ 応答高度計 (航空管制官に機体の位置、高度を知らせる計器で、この計器がないと主要航空管制区域への進入が許可されない)

- オ 機内乗員通話装置（パイロット、乗員等が相互に通話を行うために必要な装置）
- カ 空中衝突警告装置（機体から電波を出すことにより、機体間の位置を把握し、警告することにより衝突を防止する）
- キ 緊急位置発信装置（遭難時において無線電波を発信し、避難位置を知らせるための装置）
- ク ワイヤークッター（コクピットの機外上方と機首下面に鋭い剣先のような刃物で、航行上において索道等に遭遇し危険を回避できない場合にケーブルを切断し、安全を確保する）

(4) 購入価格

機体本体及び特別装備品 1,678,000,000円（消費税込）

(5) 購入先

三井物産株式会社中部支社

(6) 搭載資器材

[救急用資器材]

生体情報モニター 除細動器 蘇生バッグ 自動吸引器 頸椎固定カラー
ソフトシーネ 酸素投与器具一式 その他

[救助用資器材]

エバックハーネス デラックスサバイバースリング レスキュースリング
ヘリタックホットシート ラッピングストレッチャー 折り畳み式バックボード
ヘリハーネス フルボディーハーネス GPS ロープ カラビナ
ライフジャケット ウェットスーツ ドライスーツ マスク フィン
シュノーケル ブーツ グローブ 浮環 その他

[その他資器材]

テント シュラフ ランタン ザック 訓練用ダミー モッコ 物資バック
その他

第1表 令和5年度防災ヘリコプター運航状況(JA119M)

区 分	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	総 計
緊急運航	救急活動	件数	4						3	1	3	1	3	15	40件 44:58
		時間	01:42						01:12	00:05	03:17	00:21	01:28	08:05	
	救助活動	件数	4						4	1	4	1	4	18	
		時間	04:52						03:46	01:03	07:43	01:07	05:50	24:21	
	火災防 御活 動	件数	2								2	2			
時間		02:38								05:04	03:09			10:51	
災害 応急 対策 活動	件数									1				1	
	時間									01:41				01:41	
受 援	件数	2	9	6		6	7	2	7		2			41	41件
災害 予 防 運 航	自隊訓練	件数	12						18	21		21	13	85	89件 132:53
		時間	17:12						26:29	30:26		33:57	19:40	127:44	
	県 関 係 防 災 訓 練	件数	2						1	1				4	
		時間	01:29						01:13	02:27				05:09	
市 町 村 防 災 訓 練	件数													0	
	時間													00:00	
災害危険 個所調査	件数													0	
	時間													00:00	
その他 運航	一般行政 飛 行	件数								1				1	21件
		時間								02:00				02:00	20:14
	試験飛行 そ の 他	件数		2					4	4	1	9			20
時間			02:20					02:35	04:52	00:21	08:06			18:14	
合 計	件数	24	2	0	0	0	0	4	30	29	18	23	20	150件	
	受 援 件 数	2	9	6	0	6	7	2	7	0	2	0	0	41件	
	時間	27:53	02:20	00:00	00:00	00:00	00:00	02:35	37:32	43:07	22:15	35:25	26:58	198:05	
運航実日数	日数	15	2	0	0	0	0	1	16	24	10	15	12	95日	
運航休止日数	日数	7.5	31	30	31	31	30	31	14	2	0	3.2	0	210.7日	

第2表 令和5年度 緊急運航活動概要

出動 件数	種別	要請日時・要請機関	概況	飛行 時間
1	消火	R5.4.1(土)14:55 ○四日市市消防本部 <発生場所> 四日市市 山之一色町地内 三重化成工業所付近	焚火が林野に延焼したとの通報により空中消火の要請があったもの。 現場上空にて火災現場を確認後、情報収集活動を実施。 現場指揮本部からの帰投指示により情報収集活動を終了し、基地帰投する。 出 動 _____ 16:10 現 場 到 着 _____ 16:22 現 場 撮 影 _____ 16:25 現 場 離 脱 _____ 16:45 帰 隊 _____ 17:00	0:50
2	消火	R5.4.4(火)14:00 ○甲賀広域行政組合 消防本部 <発生場所> 滋賀県甲賀市 信楽町牧地内	信楽高原鉄道 紫香楽宮跡駅西側の山から白煙があがっているため上空偵察 及び、必要であれば空中消火の要請があったもの。 滋賀県防災航空隊は奈良県防災航空隊からの応援要請により出動中であったため「三 重県・滋賀県航空消防防災相互応援協定」に基づき出動する。 火災現場上空にて火災状況を目視で確認後、場外離着陸場にてバンビマック スを取り付け後、ため池にて給水し消火活動を実施。合計3回散水後、現場指揮 本部より帰投命令を受け消火活動を終了し、場外離着陸場着陸後、バンビマックスを 取外し、基地帰投する。 出 動 _____ 14:45 現 着 取 付 _____ 15:24 場 外 離 陸 _____ 15:30 現 場 離 脱 _____ 16:15 着 陸 取 外 _____ 16:20 場 外 離 陸 _____ 16:26 帰 隊 _____ 16:45	1:48
3	山岳	R5.4.14(金)10:43 ○熊野市消防本部 <発生場所> 熊野市五郷地内 三口山山頂付近	熊野市消防本部に「80歳代男性を捜索してほしい」との通報があり要請があった もの。現場上空到着後、航空隊員1名を降下させ要救助者1名を機内収容する。 出 動 _____ 11:58 現 着 捜 索 _____ 12:22 救 助 開 始 _____ 12:37 救 助 完 了 _____ 12:57	0:59
4	救急 救助から の移行	R5.4.14(金)10:43 ○熊野市消防本部 <発生場所> 熊野市五郷地内 三口山山頂付近	救助後、東紀州(紀南)広域防災拠点に着陸し要救助者を熊野市消防本部救急 隊に引継ぎ、帰投する。 出 動 _____ 12:57 収 容 先 着 _____ 13:05 引 継 完 了 _____ 13:16 帰 隊 _____ 13:45	0:37
5	山岳	R5.4.16(日)12:25 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市藤原町 本郷地内 御池岳登山道上	50歳代女性2名が滑落し負傷したとの通報に救助の要請があったもの。 現場上空到着後、航空隊員2名を降下させ、1名は消防隊とともに下山可能なた め、もう1名の要救助者を機内収容する。 出 動 _____ 13:14 現 着 捜 索 _____ 13:35 救 助 開 始 _____ 14:05 救 助 完 了 _____ 14:45	1:31
6	救急 救助から の移行	R5.4.16(日)12:25 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市藤原町 本郷地内 御池岳登山道上	救助後、三重県立総合医療センターへ搬送し、医師に引継ぐ。 出 動 _____ 14:45 収 容 先 着 _____ 14:56 引 継 完 了 _____ 15:03 帰 隊 _____ 15:13	0:21
7	山岳	R5.4.23(日)10:56 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町菰野地内 御在所岳中道登山道 6合目付近	60歳女性が意識消失で下山不能との通報に救助の要請があったもの。 現場上空到着後、航空隊員1名を降下させ要救助者1名を機内収容する。 出 動 _____ 11:40 現 着 捜 索 _____ 11:52 救 助 開 始 _____ 12:15 救 助 完 了 _____ 12:50	1:09

出動 件数	種別	要請日時・要請機関	概況	飛行 時間
8	救急 救助からの 移行	R5.4.23(日)10:56 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町菰野地内 御在所岳中道登山道 6合目付近	救助後、三重県立総合医療センターへ搬送し、医師に引継ぐ。 出 動 _____ 12:50 収 容 先 着 _____ 12:55 引 継 完 了 _____ 13:05 帰 隊 _____ 13:18	0:19
9	山 岳	R5.4.23(日)15:05 ○甲賀広域行政組合 消防本部 <発生場所> 滋賀県甲賀市土山町 大河原地先 クラ谷分岐から300m 登山道上	61歳男性が雨乞岳に向かう途中で滑落したとの通報に救助の要請があったもの。 滋賀県防災航空隊は他の緊急事案に対応していることから「三重県・滋賀県航 空消防防災相互応援協定」に基づき出動する。 出 動 _____ 15:52 現 着 捜 索 _____ 16:06 救 助 開 始 _____ 16:32 救 助 完 了 _____ 17:05	1:13
10	救急 救助からの 移行	R5.4.23(日)15:05 ○甲賀広域行政組合 消防本部 <発生場所> 滋賀県甲賀市土山町 大河原地先 クラ谷分岐から300m 登山道上	救助後、甲賀消防本部場外に着陸し要救助者を甲賀広域行政組合消防本部救 急隊に引継ぎ、帰投する。 出 動 _____ 17:05 収 容 先 着 _____ 17:12 引 継 完 了 _____ 17:19 帰 隊 _____ 17:37	0:25
11	山 岳	R5.11.18(土)14:55 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市大安町 石樽南地内	53歳男性が滑落し、いびき様の呼吸をしているとの通報に救助の要請があったも の。現場上空到着後、航空隊員2名を降下させ、要救助者を機内収容する。 出 動 _____ 15:18 現 着 捜 索 _____ 15:34 救 助 開 始 _____ 15:48 救 助 完 了 _____ 16:12	0:55
12	救急 救助からの 移行	R5.11.18(土)14:55 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市大安町 石樽南地内	救助後、いなべ市ヘリポートにて要救助者を桑名市消防本部救急隊に引継ぐ。 出 動 _____ 16:12 収 容 先 着 _____ 16:18 引 継 完 了 _____ 16:22 帰 隊 _____ 16:39	0:22
13	山 岳	R5.11.19(日)15:44 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町菰野地内 御在所岳裏道登山道 6合目付近	20歳代男性が左膝負傷により歩行不可との通報に救助の要請があったもの。 捜索活動を実施するも要救助者発見には至らず日没時間を考慮し帰投する。 出 動 _____ 15:59 現 着 捜 索 _____ 16:12 現 場 離 脱 _____ 16:27 帰 隊 _____ 16:40	0:41
14	山 岳	R5.11.20(月)13:42 ○郡上市消防本部 <発生場所> 岐阜県郡上市 郡上市役所 南東4,000m	59歳女性が滑落し歩行不可との通報に救助の要請があったもの。 岐阜県防災ヘリコプター「若鮎Ⅰ」及び「若鮎Ⅲ」は耐空検査及び、機体点検整備 のため運休中であることから「四県一市航空消防防災相互応援協定」に基づき 出動する。 出 動 _____ 14:20 現 着 捜 索 _____ 14:58 救 助 開 始 _____ 15:09 救 助 完 了 _____ 15:30	1:10
15	救急 救助からの 移行	R5.11.20(月)13:42 ○郡上市消防本部 <発生場所> 岐阜県郡上市 郡上市役所 南東4,000m	救助後、「中央公園」に着陸し要救助者を郡上市消防本部救急隊に引継ぎ 帰投する。 出 動 _____ 17:05 収 容 先 着 _____ 17:12 引 継 完 了 _____ 17:19 帰 隊 _____ 17:37	0:36

出動 件数	種 別	要請日時・要請機関	概 況	飛行 時間
16	山 岳	R5.11.21(火)14:50 ○伊勢市消防本部 <発生場所> 伊勢市朝熊町 朝熊ヶ岳	74歳男性が下山中、滑落し右下肢骨折疑い、頭部負傷との通報に救助の要請があったもの。 出 動 _____ 15:24 現 着 捜 索 _____ 15:34 救 助 開 始 _____ 15:46 救 助 完 了 _____ 16:24	1:00
17	救 急 救助から の移行	R5.11.21(火)14:50 ○伊勢市消防本部 <発生場所> 伊勢市朝熊町 朝熊ヶ岳	救助後、伊勢赤十字病院屋上ヘリポートにて、医師に引継ぐ。 出 動 _____ 16:24 収 容 先 着 _____ 16:30 引 継 完 了 _____ 16:36 帰 隊 _____ 16:44	0:14
18	災害応急 対策活動	R5.12.3(日)06:00 ○三重県災害対策 本部 <発生場所> 三重県南部地方	三重県災害対策本部の指示を受け、津波注意報発令中に伴い、三重県南部 方面の被害状況等の調査のため、災害応急対策活動を実施した。 出 動 _____ 07:36 映 像 送 信 _____ 08:10 送 信 終 了 _____ 09:12 帰 隊 _____ 09:17	1:41
19	山 岳	R5.12.10(日)14:05 ○湖南広域消防局 <発生場所> 滋賀県栗東市 荒張地先 金勝山	4名パーティーの内、40代男性1名が転倒負傷し下山できないとの通報に救助の 要請があったもの。 滋賀県防災ヘリコプター「琵琶」は、耐空検査のため運休中であることから 「三重県・滋賀県航空消防防災相互応援協定」に基づき出動する。 出 動 _____ 14:32 現 着 捜 索 _____ 14:50 救 助 開 始 _____ 15:00 救 助 完 了 _____ 15:35	1:03
20	救 急 救助から の移行	R5.12.10(日)14:05 ○湖南広域消防局 <発生場所> 滋賀県栗東市 荒張地先 金勝山	救助後、済生会滋賀県病院にて、医師に引継ぐ。 出 動 _____ 15:35 収 容 先 着 _____ 15:40 済生会滋賀県病院を離陸前に他事案を入電し対応としたため本件活動終了す る。	0:05
21	消 火	R5.12.10(日)15:45 ○甲賀広域行政組合 消防本部 <発生場所> 滋賀県甲賀市 土山町鮎河地先	山中から煙があがっているため上空からの偵察の実施要請が甲賀広域行政組合 消防本部から滋賀県防災航空隊に入ったもの。 滋賀県防災ヘリコプター「琵琶」は、耐空検査のため運休中であることから 「三重県・滋賀県航空消防防災相互応援協定」に基づき出動する。 三重県防災航空隊は他事案対応により済生会滋賀県病院屋上ヘリポートを離陸 し、現場上空到着後、情報収集活動を実施した。 その後、日没時間及び残燃料から活動限界となり津市伊勢湾ヘリポートに帰投。 出 動 _____ 15:54 現 着 確 認 _____ 16:03 活 動 終 了 _____ 16:25 帰 隊 _____ 16:36	0:42
22	消 火	R5.12.11(月)05:30 ○甲賀広域行政組合 消防本部 <発生場所> 滋賀県甲賀市 土山町鮎河地先 旧鮎河小学校から 北東約1.7km山林	「土山町鮎河地先 旧鮎河小学校から北東約1.7kmの山林から白煙があがって いるため上空からの消火活動を実施されたい」との要請が甲賀広域行政組合 消防本部から滋賀県防災航空隊に入ったもの。 滋賀県防災ヘリコプター「琵琶」は、耐空検査のため運休中であることから 「三重県・滋賀県航空消防防災相互応援協定」に基づき出動する。 散水位置及び給水位置を確認後、場外離着陸場(甲賀青戸ダム円形公園)にて バンビマックスを取り付け後、青戸ダムにて給水し消火活動を実施。 合計18回散水後、本部より帰投命令を受け消火活動を終了し、場外離着陸場着陸後 バンビマックスを取外し、基地帰投する。 出 動 _____ 06:59 現 着 取 付 _____ 07:32 場 外 離 陸 _____ 07:37 散 水 18回 _____ 10,610ℓ 着 陸 取 外 _____ 14:47 場 外 離 陸 _____ 14:52 帰 隊 _____ 15:06	4:22

出動 件数	種 別	要請日時・要請機関	概 況	飛行 時間
23	消 火	R6.1.2(火)05:00 ○総務省消防庁 <発生場所> 石川県能登半島	令和6年度能登半島地震に伴い、緊急消防援助隊航空部隊として出動し、情報収集活動(消火活動の必要可否判断)を実施したもの。 上空から火災防御活動の必要はなく、輪島消防署場外離着陸場へ着陸し、火災の状況を説明後、小松空港へ着陸する。 小 松 離 陸 _____ 09:27(火災調査) 輪島署着陸 _____ 10:29 輪島署離陸 _____ 10:57 小 松 着 陸 _____ 11:36	1:41
24	救 急	R6.1.2(火)05:00 ○総務省消防庁 <発生場所> 石川県能登半島	令和6年度能登半島地震に伴い、緊急消防援助隊航空部隊として出動し、救急活動を実施したもの。 町野小学校場外離着陸場にて傷病者2名を引継ぎ鞍月セントラルパーク場外離着陸場への傷病者搬送活動を実施したもの。 傷病者を地上消防隊に引継ぎ小松空港に着陸する。 小 松 離 陸 _____ 13:11 町野小着陸 _____ 13:42 町野小離陸 _____ 14:08 収 容 先 着 _____ 14:36 収 容 先 離 陸 _____ 14:47 小 松 着 陸 _____ 14:58	1:10
25	救 助 (その他)	R6.1.2(火)05:00 ○総務省消防庁 <発生場所> 石川県能登半島	令和6年度能登半島地震に伴い、緊急消防援助隊航空部隊として出動したもの。 「頭部を負傷した避難住民が輪島市立鶴巣小学校にいるため、鞍月セントラルパークへ搬送」との指示を受け事案対応する。 1月3日 小 松 離 陸 _____ 09:06 上 空 到 着 _____ 09:40 救 助 完 了 _____ 10:08	1:02
26	救 急 救助からの 移行	R6.1.2(火)05:00 ○総務省消防庁 <発生場所> 石川県能登半島	救助後、鞍月セントラルパークへ着陸し、要救助者を金沢市消防局救急隊へ引継ぎ小松空港へ着陸する。 1月3日 出 動 _____ 10:08 収 容 先 着 _____ 10:37 引 継 完 了 _____ 10:42 小 松 着 陸 _____ 10:53	0:40
27	救 助	R6.1.3(水)14:15 ○奈良県広域消防 組合消防本部 <発生場所> 奈良県吉野郡天川村 栴尾辻付近	男性1名が下山予定日(1月2日)になっても帰ってこないとの通報に救助の要請があったもの。 奈良県防災ヘリコプターは、耐空検査のため運休中であることから「紀伊半島三県災害等相互応援に関する協定」に基づき出動する。 現場上空到着後、捜索活動を実施するも天候不良により活動を断念し現場指揮本部と調整後、基地帰投する。 出 動 _____ 14:49 現 場 離 脱 _____ 15:31 帰 隊 _____ 15:51	1:02
28	救 助	R6.1.5(金)09:20 ○奈良県広域消防 組合消防本部 <発生場所> 奈良県吉野郡天川村 釈迦ヶ岳付近	男性1名が下山予定日(1月2日)になっても帰ってこないとの通報に救助の要請があったもの。 奈良県防災ヘリコプターは、耐空検査のため運休中であることから「紀伊半島三県災害等相互応援に関する協定」に基づき出動する。 なお、本事案はNo.27の継続事案である。 現場上空到着後、捜索活動を実施するも発見には至らずその後、奈良県ヘリポートにて燃料給油後、再度捜索を実施したところ、要救助者の所持品と思われるリュックサックを発見するも要救助者の発見には至らず、その後、活動限界となり帰投する。 出 動 _____ 09:59 現 着 捜 索 _____ 10:29 現 場 離 脱 _____ 12:00 奈 良 着 陸 _____ 12:17 奈 良 離 陸 _____ 13:35 現 着 捜 索 _____ 13:50 ザ ッ ク 発 見 _____ 14:26 現 場 離 脱 _____ 14:46 帰 隊 _____ 15:10	3:53

出動 件数	種 別	要請日時・要請機関	概 況	飛行 時間
29	救 助	R6.1.6(土)08:35 ○奈良県広域消防 組合消防本部 <発生場所> 奈良県吉野郡天川村 釈迦ヶ岳付近	男性1名が下山予定日(1月2日)になっても帰ってこないとの通報に救助の要請 があったもの。 奈良県防災ヘリコプターは、耐空検査のため運休中であることから 「紀伊半島三県災害等相互応援に関する協定」に基づき出動する。 なお、本事案はNo.28の継続事案である。 現場上空到着後、捜索活動を実施するも発見には至らず、その後、活動限界の ため帰投する。 出 動 _____ 09:26 現 着 捜 索 _____ 09:57 現 場 離 脱 _____ 10:44 帰 隊 _____ 11:12	1:46
30	消 火	R6.1.14(日)14:55 ○奈良県広域消防 組合消防本部 <発生場所> 奈良県宇陀市室生 上笠間付近 山林内	山への延焼があり上空からの消火活動の実施要請があったもの。 奈良県防災ヘリコプターは、耐空検査のため運休中であることから 「紀伊半島三県災害等相互応援に関する協定」に基づき出動する。 散水位置及び給水位置を確認後、榛原フレンドパーク場外離着陸場に着陸。 バンビマックスを取り付け、消火活動を実施。 合計2回散水後、榛原フレンドパーク場外離着陸場着陸後、バンビマックスを取外し、 基地帰投する。 出 動 _____ 15:26 現 着 取 付 _____ 15:54 場 外 離 陸 _____ 15:58 散 水 2 回 _____ 1,1500 着 陸 取 外 _____ 16:36 場 外 離 陸 _____ 16:39 帰 隊 _____ 17:01	1:28
31	救 急	R6.1.19(金)05:00 ○総務省消防庁 <発生場所> 石川県能登半島	令和6年度能登半島地震に伴い、緊急消防援助隊航空部隊として出動したもの。 緊急消防援助隊富山県大隊富山市消防局救急隊から要救助者2名を引継ぎ、 金沢市鞍月セントラルパークへ搬送する。 小 松 離 陸 _____ 08:38 収 容 先 着 _____ 09:25 収 容 先 離 陸 _____ 09:44 収 容 先 着 _____ 10:13 引 継 完 了 _____ 10:21 小 松 着 陸 _____ 10:32	1:27
32	救 助	R6.2.10(土)11:35 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市藤原町 山口地内 御池岳 白瀬峠付近	女性1名が登山中、両下肢痙攣で下山できないとの通報に救助の要請があった もの。 現場上空到着後、航空隊員1名を降下させ要救助者1名を機内収容する。 出 動 _____ 12:13 現 着 捜 索 _____ 12:31 救 助 開 始 _____ 13:03 救 助 完 了 _____ 13:20	1:07
33	救 急 救助から の移行	R6.2.10(土)11:35 ○桑名市消防本部 <発生場所> いなべ市藤原町 山口地内 御池岳 白瀬峠付近	救助後、三重県立総合医療センターへ搬送し、医師に引継ぐ。 出 動 _____ 13:20 収 容 先 着 _____ 13:30 引 継 完 了 _____ 13:35 帰 隊 _____ 13:46	0:21
34	救 助	R6.3.13(水)12:15 ○三重紀北消防組合 消防本部 <発生場所> 尾鷲市九鬼町地内 オハイ付近	女性1名が岩場から2m滑落したとの通報に救助の要請があったもの。 現場上空到着後、航空隊員2名を降下させ要救助者1名を機内収容する。 出 動 _____ 13:04 現 着 捜 索 _____ 13:25 救 助 開 始 _____ 13:40 救 助 完 了 _____ 14:17	1:13
35	救 急 救助から の移行	R6.3.13(水)12:15 ○三重紀北消防組合 消防本部 <発生場所> 尾鷲市九鬼町地内 オハイ付近	救助後、東紀州(紀北)広域防災拠点に着陸し要救助者を三重紀北消防組合 救急隊に引継ぎ、帰投する。 出 動 _____ 14:17 収 容 先 着 _____ 14:25 引 継 完 了 _____ 14:33 帰 隊 _____ 14:58	0:33

出動 件数	種 別	要請日時・要請機関	概 況	飛行 時間
36	救 助	R6.3.27(水)13:34 ○熊野市消防本部 <発生場所> 熊野市紀和町 大河内地内の山林	山林作業中の男性1名が受傷し意識無く、吐血しているとの通報に救助の要請があったもの。 現場上空到着後、航空隊員2名を降下させ要救助者1名を機内収容する。 出 動 _____ 14:11 現 着 捜 索 _____ 14:46 救 助 開 始 _____ 14:56 救 助 完 了 _____ 15:42	1:31
37	救 急 救助から の移行	R6.3.27(水)13:34 ○熊野市消防本部 <発生場所> 熊野市紀和町 大河内地内の山林	救助後、東紀州(紀南)広域防災拠点に着陸し要救助者を熊野市消防本部救急隊に引継ぎ、帰投する。 出 動 _____ 15:42 収 容 先 着 _____ 15:47 引 継 完 了 _____ 15:55 帰 隊 _____ 16:25	0:35
38	救 助	R6.3.30(土)14:44 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町大字千草地内 国見岳 割谷の頭付近	男性1名が単独登山中、急斜面を滑落したとの通報に救助の要請があったもの。 現場上空到着後、要救助者を確認。その後、航空隊員1名を現場投入するも現場は急斜面で活動不可と判断。航空隊員1名を機内収容し、再度降下ポイントの選定を行った。その後、航空隊員2名を降下させ、地上での情報収集及び捜索を指示した後、防災ヘリは、燃料補給のため、基地に一時帰還。 その後、降下させた航空隊員から要救助者に接触した旨の連絡を受け、要請消防本部と今後の活動について調整を行い、伊勢湾ヘリポートを離陸、現場上空付近にて救助ポイントを確認するも見当たらず。 また要救助者については航空隊員2名での搬送不可。 活動限界時間を迎えたため航空救助活動を断念し、航空隊員2名を機内収容し基地帰還する。 出 動 _____ 15:14 現 着 捜 索 _____ 15:27 隊 員 投 入 _____ 15:57(1名) 隊 員 回 収 _____ 16:07 隊 員 投 入 _____ 16:21(2名) 現 場 離 脱 _____ 16:28 帰 隊 _____ 16:39 出 動 _____ 17:06 隊 員 回 収 _____ 17:52 現 場 離 脱 _____ 17:53 帰 隊 _____ 18:06	2:25
39	救 助	R6.3.31(日)06:10 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町大字千草地内 国見岳 割谷の頭付近	前日からの継続事案である。 現場上空到着後、要救助者及び地上消防隊を確認。その後、航空隊員1名を降下させエバックハーネスにて要救助者を機内収容する。 出 動 _____ 07:09 現 着 _____ 07:22 隊 員 投 入 _____ 07:30 救 助 完 了 _____ 07:50	0:41
40	救 急 救助から の移行	R6.3.31(日)06:10 ○菰野町消防本部 <発生場所> 菰野町大字千草地内 国見岳 割谷の頭付近	救助後、三重県立総合医療センターへ搬送し、医師に引継ぐ。 出 動 _____ 07:50 収 容 先 着 _____ 07:57 引 継 完 了 _____ 08:03 帰 隊 _____ 08:16	0:20